

■フランス：英政府が仏 EDF の英 EPR プロジェクトの契約締結を延期

2016年8月1日付フランス経済紙は、英国のメイ首相が同国にとって戦略的に重要な EPR プロジェクトに中国資本が参加することに懸念を示していると伝えた。この EPR プロジェクトは、フランス大手 EDF が英国ヒンクリーポイントに建設を計画しているプロジェクト（HPC）で、EDF は7月29日の経営委員会で HPC についての最終投資決定を下したが、その直後に、英国政府が HPC についてさらに検討するため、英国政府としての決定は早秋になると発表し、契約締結は延期されることとなった。延期の理由として、メイ首相が前政権で内務大臣だった時から HPC に中国資本が参加（中国企業 CGN が 33.5% 出資）することに懸念を表明していたと英国メディアは報道している。また、7月21日にメイ首相がフランスのオランド大統領と会談した時も、プロジェクトの精査が必要として契約調印を遅らせることをフランス側に伝えたとされる。一方、英国の野党・労働党からは、同プロジェクトの高い買取価格が消費者に大きな負担を強いるという批判も出ている。